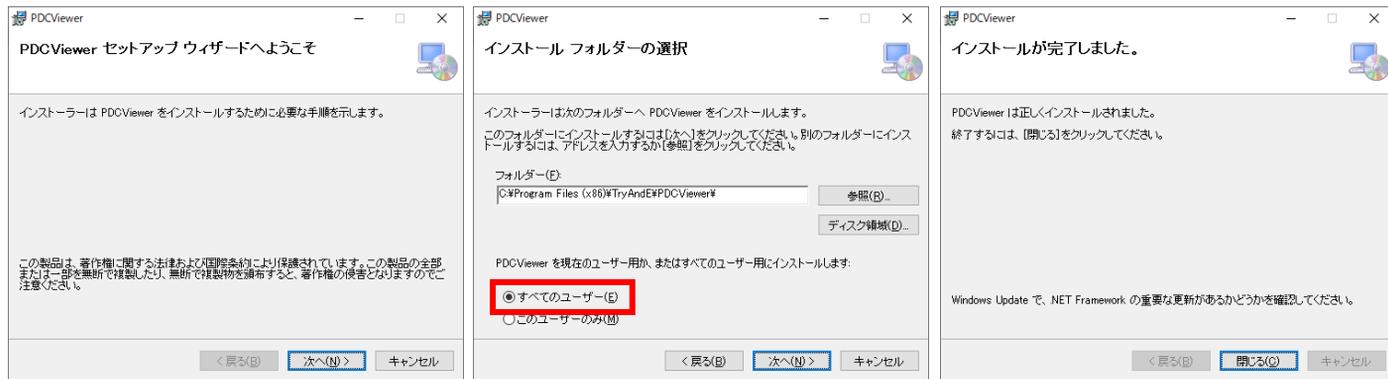


◆P.D.CamをPCと1対1で接続する方法

①付属のUSBフラッシュメモリからPDCViewerをインストール

※インストールフォルダの選択画面で「すべてのユーザー」へのインストールを選択してください。



②ケーブルを接続

P.D.Camに電源ケーブルとEthernetアダプタを接続します。
EthernetアダプタのLANポートからLANケーブルを使用し、
PCと接続します。
付属のLANケーブルで長さが足りない場合は必要な長さの
LANケーブルをご用意ください。

Ethernetアダプタ



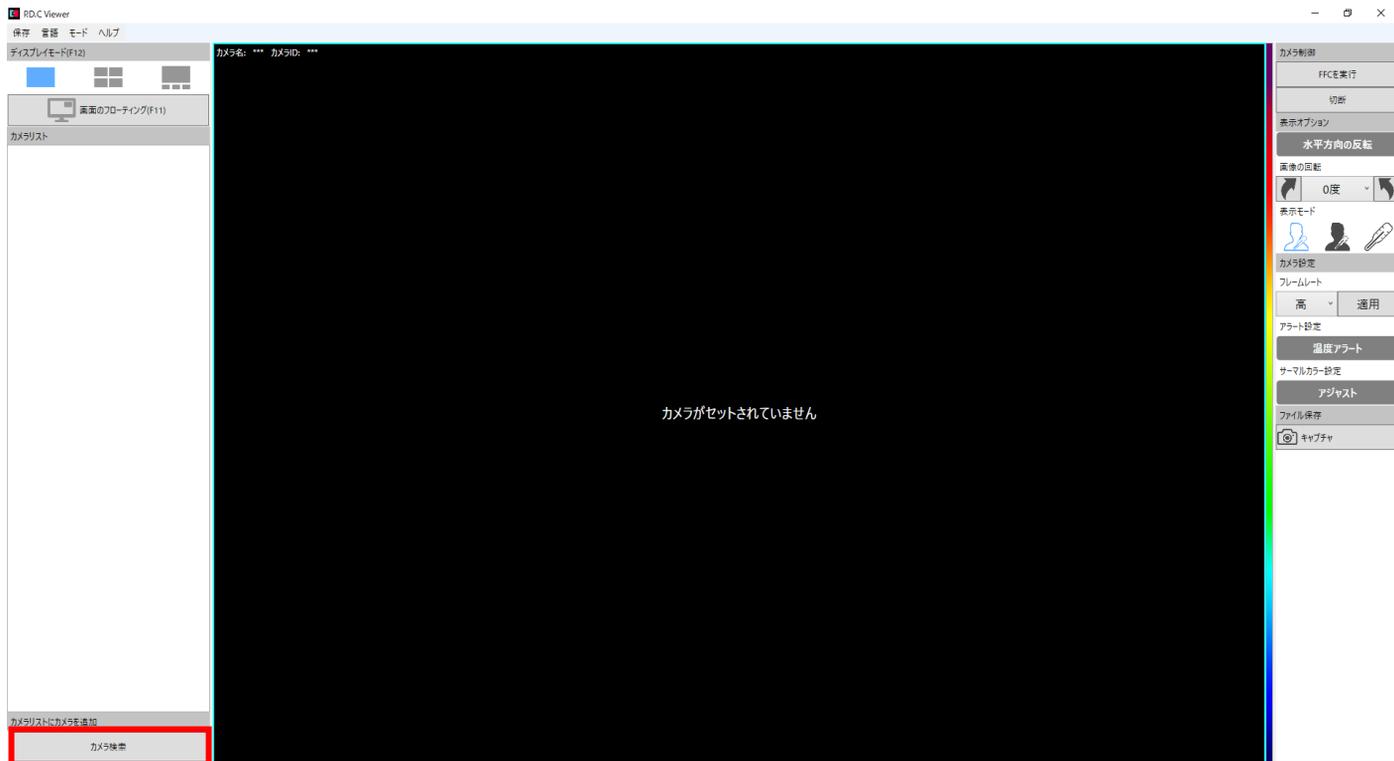
③ P.D.Camの電源を入れる

電源ケーブルの途中にあるスイッチをONにしてP.D.Camの電源を入れます。
電源をONにするとカメラ側面のインジケータが緑に点滅します。
点滅が点灯になるとカメラの準備はOKです。



④ PDC Viewerでカメラを検索

PDC Viewerを立ち上げ、左下のカメラ検索ボタンをクリックします。



カメラが表示されたらカメラを選択し
選択ボタンを押してください。

カメラが表示されない場合は再スキャンボタン
を押して検索してください。

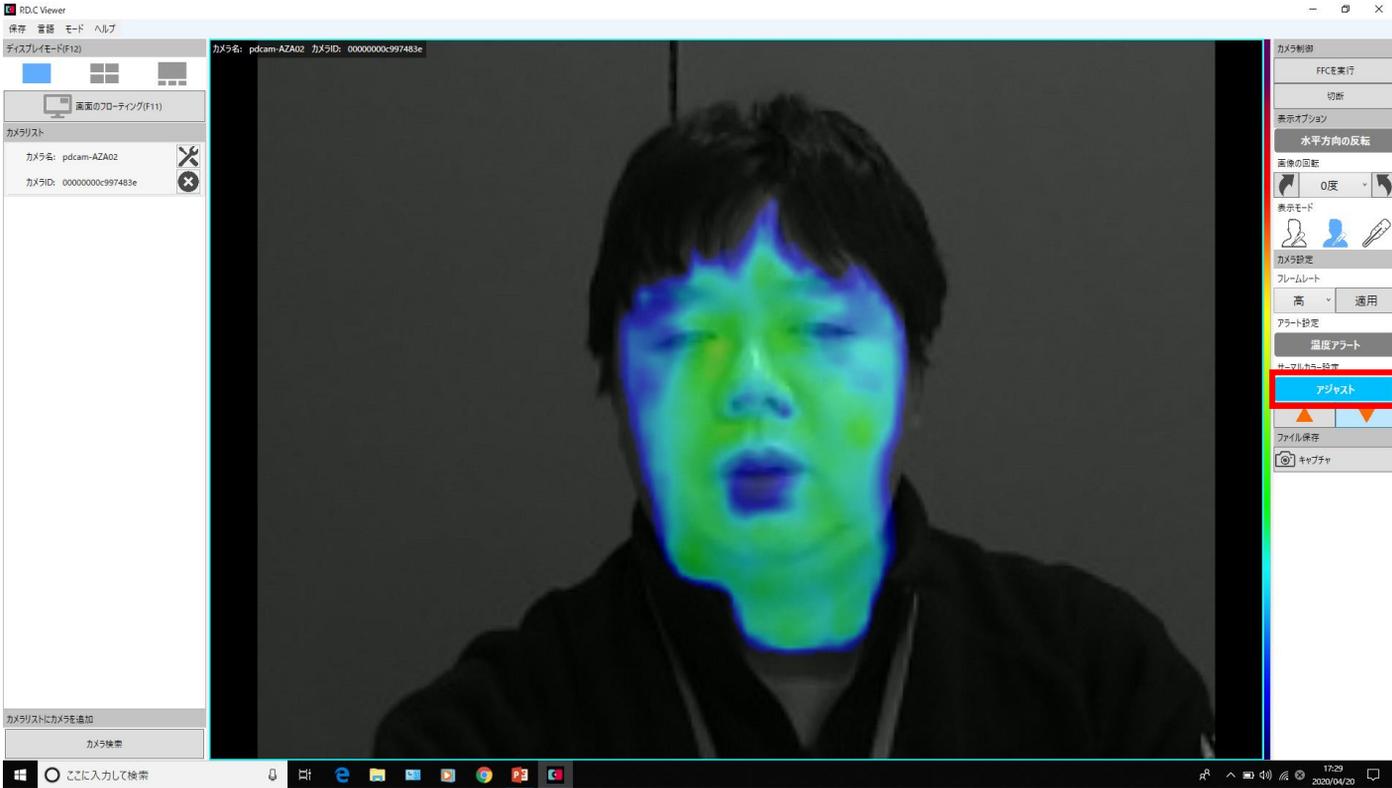


⑤サーマル画像の表示

画面左側のカメラリストにカメラが表示されます。
カメラ名の欄をダブルクリックするとサーマル画像が表示されます。

⑥温度アジャスト設定

画面右側のアジャストボタンを押し、画面上で基準にしたい点を長押しクリックすることで基準色の変更が可能です。



<推奨基準値>

健常者（平熱の方）の額、あごで基準色を設定

※高温を持った人の検知原理

P.D.Camはサーマルセンサを使用し健常者（平熱の方）の体温と熱を持った人の体温を色の違いから視覚的に見分けることを目的としています。健常者での基準値設定が重要となります。

カラー割り付け

※下の例は35℃をアジャスト基準温度にした場合です。基準温度を変更すれば上限下限温度も変わります。

●Normal 8℃の温度変化幅の中にほぼ均等に色が割り付けられています

32℃ 33℃ 34℃ 35℃ 36℃ 37℃ 38℃ 39℃ 40℃以上
(Adjust 基準温度)



●Adapt 8℃の温度変化幅の中に熱のある方を最適に検出されるように色が割り付けられています

31.5℃ 32℃ 33℃ 35℃ 37℃ 38℃ 38.5℃ 39℃ 39.5℃以上
(Adjust 基準温度)



モード切替は画面左上のモードをクリックしてNormalとAdaptを切り替えます。

通常はNormalモードで使用して頂いて問題ありません。

⑦温度アラート設定 (オプション設定)

サーマル画像内に基準値よりも高い温度を検出した際にアラートを鳴らすことができます。
温度：基準値との差を設定します。
時間：アラートの持続時間を設定します。

例

基準値：36℃の人にて設定

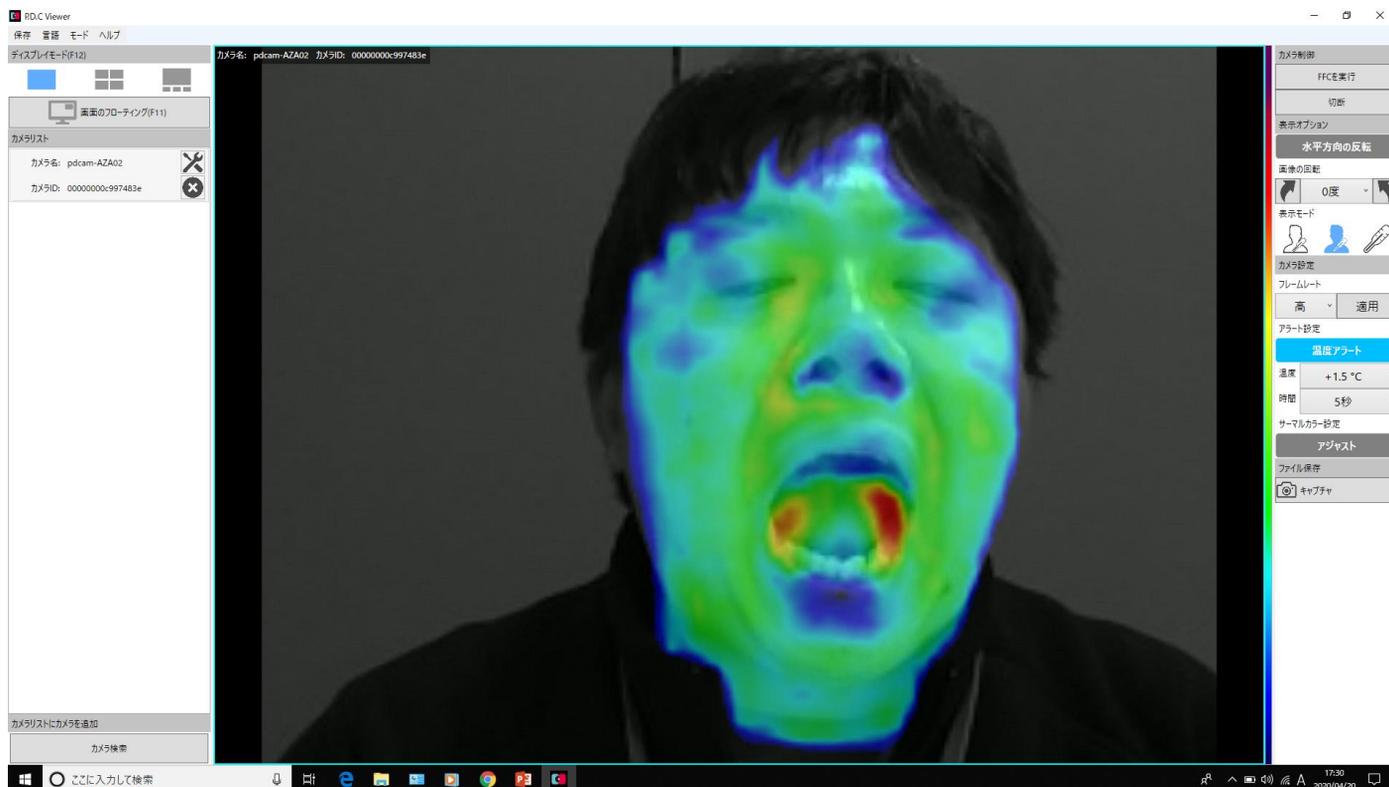
温度：+1.5℃、時間：5秒に設定した場合



37.5℃以上の温度が検出された場合

5秒間アラートが鳴ります。

アラートの確認をする場合、口を開けると確認が容易です。
(口の中は一般的に温度が高いため)



⑧全画面表示

サーマル画像を外部ディスプレイなどに表示する場合はF11キーを押して全画面表示に変更し
ウィンドウサイズの最大化を行います。
もう一度F11キーを押すとメニューが表示された画面に戻ります。

**本機器は「医療機器」ではないため体温を計測することはできません。
体温の高い人を判断するスクリーニングツールとしてご使用ください。**